

いわて食育応援団だより

令和7年度実績(令和7年4月～令和8年3月)



いわての食育シンボルマーク
「毎月19日は食育の日」

「いわて食育応援団」の食育取組を紹介！



岩手県食育推進ネットワーク会議では、食育活動に取り組まれている企業・団体を「いわて食育応援団」として認証し、企業等と連携して食育活動を展開しています。

昨年度の「いわて食育応援団」の食育の取組を一部紹介します。

「いわて食育応援団」認証団体	食育活動内容
白石食品工業株式会社	・工場見学やパン教室開催、地産地消の取組、イベントでのパン提供
株式会社いわちく	・工場見学＆生ウインナー教室の開催、生ウインナーづくり体験の実施
金ヶ崎産直組合（産直かねがさき）	・毎月19日の食育の日に一日にとりたい野菜（350g）をパッケージし販売
六原産直組合（産直ろくちゃん）	・新鮮野菜たっぷりの減塩でもおいしい「やさしい弁当」を商品化し提供
岩手ふるさと農業協同組合	・農作業体験、消費地交流事業、食育フェア、離乳食・幼児食教室
新岩手農業協同組合	・田植え体験、野菜の種まき、収穫体験、学校への出前授業
岩手県信用農業協同組合連合会	・岩手県少年サッカー新入大会終了後に食農教室を実施
大塚製薬株式会社仙台支店盛岡出張所 有限会社 秀吉	・朝食が脳に与える影響やバランス栄養の必要性を訴える説明会実施 ・生産者との交流の場「里の幸会」の開催、地産地消料理の提供
いわて生活協同組合	・産直米生産者と田植えや稲刈り体験の実施、産地・工場見学実施
岩手ヤクルト販売株式会社	・おなか元気教室等の健康教室の開催やヤクルト向上見学会を実施
株式会社明治北日本支社盛岡オフィス	・出前授業やセミナー等を実施
キリンビバレッジ株式会社	・セミナー等の実施
株式会社ツルハ 北東北第一店舗運営部	・管理栄養士による健康相談会・無料測定会の実施等

《食育授業 紫波東小学校 生産者・関係団体との食育授業》

1. 内容 JAいわて中央農協畜産部会養豚専門部会が例年主催している町内小中学校への豚肉の無償提供に合せ、“ぶた肉はかせになろう”をテーマに生産者・農協と協力し食育出前授業を実施した。
2. 目的 地域の子どもたちに、食の大切さや養豚に励む生産者の思いを知ってもらう
3. 対象者 日詰小学校3学年児童
4. 実施場所 紫波東小学校

《高校生への出前授業（紫波総合高校）》

1. 内容 紫波総合高校の取り組み（ONEDAYCHEF）を深化するため食材である食肉の基礎知識に関する授業を実施した。
2. 目的 地元紫波町の生産物を使用した「地産地消」の実践のため、畜産事業の紹介と食肉の基礎知識を身に付けていただくため。
3. 実施場所 紫波総合高校
4. 対象者 紫波総合高校3年生

《高校生への出前授業（花北青雲高校）》

1. 内容 高校生に対して食肉事業の基礎知識と『働くこと』に関する授業を実施した。
2. 目的 食を通して社会貢献する意義を学び、食生活関連分野に対する理解を深めるため。
3. 対象者 花北青雲高校総合生活科1年生および2年生
4. 実施場所 花北青雲高校

《高校生への販売体験 和牛甲子園出品牛肉販売会》

1. 内容 JA全農が主催する“第9回和牛甲子園”に出品した高校生が育てた牛肉を県内店舗で高校生と共に販売した。
2. 目的 牛肉の流通に関する学習機会の提供
3. 対象者 盛岡農業高等学校3学年生徒他
4. 実施場所（販売会協力企業様） いわて生協（牧野林店）様



企業等からのコメント：

いわちくでは地域貢献の一環として、様々な取り組みを行っております。食に携わる企業として、食べることの大切さや美味しさを伝えられるよう、地域の皆様と共に取り組んでいきます。

金ヶ崎産直組合



いわての食育シンボルマーク
「毎月19日は食育の日」

当産直は、年間を通して、町内の学校に食材供給をしています。その関係で年に1度児童と児童と生産者が触れ合う「町内食材100%給食の日」にも招かれています。

《生活科学習 金ヶ崎小学校》

今回は金ヶ崎小学校二年生生活科の学習として、関わりの深い産直かねがさきの仕事内容、野菜の秘密、栄養価などについて学びたいとの申し出がありました。数回の打合せを経て、2回の交流活動を行いました。

○ 6月19日

店内の説明、レジメの説明の後、店内見学。児童は各自のタブレットで店内外の様子を撮影、メモをとるなどの活動を行いました。疑問に思った事はスタッフに質問していました。

- ・何が売っていますか
- ・スタッフは何人ですか
- ・スタッフさんは何故この仕事を
選んだのですか など



活動後、新しく知ったことや感謝の
思いを綴ったお手紙を頂き店内に掲示しました。

○ 10月29日

二回目ともなれば慣れてタブレットで撮影しながら質問内容も具体的になってきました。特徴的な事は店内にあった稲穂に興味を持ったことです。その折、もみの存在、もみが稲になることも知らない児童が多数おり驚きました。今後の食育活動の必要性を直感した時間でした。活動後、小学校の発表会に招待されました。更にポスターを頂き店内に掲示しました。児童、保護者が多く来店し、更に関わりを深めることが出来ました。

当産直は、年間を通して、金ヶ崎保育園にも食材供給をしています。

《収穫体験 7月4日 金ヶ崎保育園》

バスで到着の園児は午後ということもあり、疲れている様子ではありましたが、大きな玉葱を見ると 歓声をあげ畑の中に飛び込んで行きました。一人2個の玉葱を手にして、帰りのバスはニコニコ げでした。「お母さんにあげるんだ!!」という声も聞かれました。（年長組20名、保育士4名、組合員6名）

《お店屋さんごっこ 2月5日 金ヶ崎保育園》

毎年行われている行事で、今年も出店依頼がありました。

野菜、くだもの、加工品の販売を行いました 食材の調理方法、保存方法など楽しく説明しながら地産地消活動を行いました。園児も保護者も興味をもって耳を傾ける様子がみられました。活動後、園児より感謝の手紙を頂きました。

（保育園児、保護者、組合員2名）



企業等からのコメント：
お客様に喜んでもらえる元気な産直をめざし、がんばっています！！

岩手ふるさと農業協同組合



企業等からのコメント：

J Aでは、食と農を結びつける食農教育活動を実施しています。特に未来を担う子ども達やその親の世代に、食が農業によって支えられていることの理解を広めてもらう機会をさまざま提供しています。

《離乳食教室（7/10（水））》

・栄養士のUnma！及川麻梨絵様を講師に、地場産食材を使用した離乳食づくりを試食を通じて体感いただきました。今回は母親だけでなく、父親の参加もありました。



【対象者】乳児と親 13名

《加工体験教室（11～2月）》

・12回開催し、豆腐と味噌づくりの作業を体験していただきました。参加者は30代～70代くらいの女性が主で、満足度が非常に高くリピーターが多くなっています。

【対象者】一般 82名

《親子料理教室（5/10（土））》

・地場産の米や野菜を使用したおむすび・お味噌汁づくりを行いました。親が不在時でも子供が自分で簡単に作れる基本の料理として取り組みました。【対象者】親子 10名

《わくわく純情プランター（5～8月）》

・県下J A統一活動の一環として、一般募集のイベントのほか、小学校でミニトマト「ぷちぷよ」の定植作業から収穫物を調理するピザ作り、成長過程を記録に残すイラストコンテストを開催しました。親子で育てる楽しさや食べる喜びを感じていただける内容でした。【対象者】一般（子ども含む） 延べ363名

《おこのみやきパーティ（8/1（金））》

・園児たちが好きな具材を入れて混ぜたお好み焼きの生地と自分たちで握った3種類のおにぎりを指導員がホットプレートで焼くという形で行いました。手づくり味噌と自家産野菜たっぷりのお味噌汁も大好評でした。

【対象者】小山東幼稚園園児 7名、教員 5名

《ピーマン料理教室（9/17（水））》

・児童が学校で育てたピーマンを使って、4種類のピーマン料理をJ Aの生活指導補助員（グリーンペッパーズ）の指導のもと調理し、各自お弁当箱に詰めて、皆で会食しました。

【対象者】若柳小学校2年生 20名、教員 1名

《じゃがいも収穫体験（8/22（金））》

・農事組合法人いさわ南部協力のもと、児童を対象に収穫体験・収穫機械並びに選別機の見学を行いました。自分で収穫したジャガイモは自宅へ持ち帰り、家族の方にも収穫の喜びを分かち合っていたく内容としました。

【対象者】若柳小学校4年生 14名、教員 2名

《豆腐作り教室（12/1（月））》

・小学校の校外学習としてJ Aの加工センターで地場産大豆を使った豆腐づくりを行いました。機械で行う作業を体験したり、豆乳やできたての豆腐を味わい、地元の農業や食文化にふれる機会となりました。

【対象者】佐倉河小学校3年生 29名、教員 1名



新岩手農業協同組合

《JA新しいわて女性部松尾支部 食農教育》

・女性部の部員と松野小学校1・2・3年生児童による学童農園。
5月に1年生はさつま芋、2年生はきゅうりとじゃが芋、3年生は枝豆・大豆の栽培に取り組みました。また、女性部は栽培する野菜の育て方や栄養等を勉強しそれを冊子にして子供たちの勉強に役立ててもらいました。7月から10月に収穫。11月には大豆を脱穀し12月には3年生と一緒に味噌作りを行いました。全ての農園活動が終了し3年生による感謝の会が開かれ今年度の食農教育活動は終了しました。

【対象者】松野小学校児童約34名、女性部員 約10名



《JA新しいわて女性部岩手支部》

・岩手町浮島地区田んぼアート稲刈りにて、地域住民、一般参加者等を対象として、昼食用の豚汁を提供した。岩手町産の野菜や肉をふんだんに使い、地元の食材で美味しいものが作れるということを地域住民や岩手町出身ではない一般参加者の方にも伝えられるよう、丹精込めて調理した。

【対象者】地域住民、一般参加者、岩手町役場、営農組合、JA職員 全体で100名程



岩手県信用農業協同組合連合会



いわての食育シンボルマーク
「毎月19日は食育の日」

《食農教材本の贈呈》

・子どもたちが、食・環境および農業への理解を深めるきっかけとなることを目的として制作された全国版の食農教材本等を、平成20年度から県内の小学校・特別支援学校へ贈呈。令和7年度は県内小学校5年生および特別支援学校を対象に、266校へ計12,762部を贈呈。

・令和5年度からは新たに岩手県版の食農教材本を制作。令和7年度は、県内小学校4年生・5年生を対象に、258校へ計23,361部を贈呈。

《食農教育活動の取り組み》

・J Aバンク岩手が協賛する「岩手県少年サッカー新人大会」の大会プログラムに食育マンガを掲載。大会最終日に出場したチーム（出場選手約180名）に対し、J A全農いわて提供の牛乳を配布。



食農教材本

企業等からのコメント：

J Aバンク岩手（J A、信連、農林中金）では、平成20年度から子どもたちの農業への理解をはぐくみ、農業ファンの拡大や地域発展に貢献することを目的に食農教育応援事業に取り組んでいます。



岩手県少年サッカー新人大会での牛乳配布



教本の内容

いわて生活協同組合

《収穫体験企画》

内容：収穫体験・工場見学を多数実施しました。

- ・アテルイ産直会 さつま芋の苗植え&収穫体験
- ・さくらの里産直会ブルーベリーの産地見学&収穫体験
- ・今松野菜生産組合 長芋の畑見学と、現行品種・新品種の食べ比べ
- ・岩手ふるさと産直牛乳推進組合（産直牛乳）牛舎見学と交流
- ・アイコープ県産大豆豆腐工場見学・寄せ豆腐作り
- ・アイコープ豚学習会・食べ比べ
- ・浅沼養鶏場さくら卵のパッキング工場見学
- ・新産直米銀河のしずく 田んぼ見学・生産者交流など

【参加者】9企画 646人参加

【対象】子育て中の方とその家族、一般組合員



アテルイ産直会 さつま芋も苗植え、収穫体験



ブルーベリー狩り

《親子調理企画》

作って食べて楽しむ企画を行いました。

- ・キッズクッキング 牛さんが主役！春のランチプレート
- ・ひなまつりキッズクッキング

【参加者】6企画 68人

【対象】子育て中の方とその家族

《親の学習、調理企画》

食品について学習したり、試食をしたりする企画を行いました。

- ・産直真崎わかめの芯抜き体験と学習会
- ・産直若鳥 若鶏解体実演を交えた学習会
- ・オンライン離乳食教室

【参加者】27企画 579人

【対象】子育て中の方とその家族、一般組合員

《お買い物体験企画》

4～6歳の未就学児が、生協のお店で、子供だけでお買い物をし、購入した食材で家族でサンドイッチを作って食べる取り組みしました。

【参加者】3企画 48人参加

【対象】子育て中の方とその家族

企業等からのコメント：

私たちいわて生協は「ともにつくる 暮らしと未来」を掲げ、生産と消費を結び、事業と運動の両面で、多くの組合員の願いである『安全・安心、健康な食生活』を実現することをめざします。

岩手ヤクルト販売(株)



《健康教室・出前授業》

・健康のために正しい食習慣・生活習慣を身につけていただけるよう、「おなかの菌学」「おなかの元気力」などをテーマとした健康教室や出前授業を行いました。【対象】高校、企業、自治会など 191人

《ヤクルト健康ビデオライブラリー》

・ヤクルト健康ビデオライブラリーを高齢者施設の栄養士さん・調理員さん向けの勉強会等に活用していただきました。食品衛生・食中毒予防や高齢者に関する内容のDVDが多く利用されました。また、障がい者支援施設では、感染症や免疫機能についての内容のDVDを活用し、健康管理の学習にお役立っていただきました。

【貸出実績】病院、高齢者施設、障がい者支援施設など計10本 8か所

《岩手県食育推進県民大会》

・大会に出展し、カラダとお口の健康セルフチェック（腸年齢、カルシウム、睡眠、お口のケア）や腸内環境に関するクイズやゲームなどを体験していただきました。【ブース来訪者】約150人



出前講座



岩手県食育推進県民大会

企業等からのコメント：

岩手ヤクルト販売では、地域の皆さまの健康を願い、健康教室や出前授業、工場見学を通じて、健康情報を提供しています。また、ヤクルト健康ビデオライブラリーも、皆さまの健康づくりにお役立っていただきたく、ご案内しております。

株式会社明治北日本支社仙台オフィス



《食育セミナー（大人、シニア、スポーツ大賞セミナー）》

- ① 4/25) 岩手町食生活改善推進員協議会「カラダは食べた物からできている（以下、「カラダは」と言う）」食改員38名
- ② 7/3) JAいわて花巻きたかみホームヘルパー協議会「チョコレートの世界へようこそ」 大人21名
- ③ 7/4) 藤根地区交流センター藤根大学「命を守る水」 大人61名
- ④ 7/18) 一関市東山市民センター「カラダは」 大人41名
- ⑤ 7/23) 宮野目コミュニティ会議「カラダは」 大人40名
- ⑥ 7/25) 岩手県一戸町役場奥中山地区センター「チョコレートの世界へようこそ」 大人27名
- ⑦ 7/25) 大船渡市保健福祉部地域包括ケア推進室「命を守る水」 大人21名
- ⑧ 7/29) 二戸市立金田一コミュニティセンター「命を守る水」 大人49名
- ⑨ 8/18) 花巻市食生活改善推進員協議会「十勝のチーズ」 食改員41名
- ⑩ 8/27) 花北地区コミュニティ協議会「神秘の食品乳」 大人50名
- ⑪ 9/3) 摺沢市民センター「摺沢いきいき学園」 大人29名
- ⑫ 11/12) 一関市涌津市民センター「カラダは」 大人30名
- ⑬ 11/23) T-spirit「ジュニアアスリートの栄養」 中学生84名
- ⑭ 11/28) JAいわて花巻女性部宮野目支部「カラダは」 大人26名
- ⑮ 12/5) 一関市狐禅寺市民センター千歳大学「カラダは」 大人21名

《小中高・出前授業（小学生、中学生、高校生対象セミナー）》

- ① 9/24) 岩手県立黒沢尻工業高等学校
「朝食改革」 高校生117名
- ② 9/26) 専修大学北上高等学校
「受験飯」 高校生210名
- ③ 10/24) 岩手県立大船渡東高等学校
「朝食改革」 高校生57名
- ④ 2/18) 岩手県立南昌みらい高等学校
「朝食改革」 高校生350名

企業等からのコメント

株式会社 明治は食育基本法に則り、「健康な食生活」や「乳・カカオ豆を中心とした素材」をテーマに、お客様の“ココロとカラダの健康”を目指して2006年より食育活動を行っています。

《令和7年度岩手県食育推進県民大会への出展》

免疫セミナーの実施

■日時：11月3日（月）11：00～16：30

■場所：イオンモール盛岡店イベントスペース

【内容】

ブース出展にて、免疫セルフチェックを実施。回答いただいた方には、プラスマ乳酸菌入り飲料を1本プレゼント。

イオンモール盛岡店様へ訪問されたお客様を対象に実施

企業等からのコメント：

昨年に引き続き、プラスマ乳酸菌のブース出展を実施させていただきました。
免疫の大切さについて語る事ができました。ありがとうございました。

株式会社ツルハ 北東北第一店舗運営部



《イベント》

・岩手県食育推進県民大会

ツルハに在籍する管理栄養士が筋肉量、骨強度、ヘモグロビン測定を行い、測定した方の結果に基づき食事等のアドバイスをを行いました。ご参加いただいた方にはツルハ管理栄養士がおすすめする商品のサンプルセットをお渡ししました。

・ふれあいランド岩手

ふれあいランド岩手様の健康測定会イベントと一緒に参加させていただき、骨強度や野菜不足診断等を行い、食事や健康に関するアドバイスをを行いました。(80名)

《普及啓発活動》

・管理栄養士在籍店での無料の健康測定会

岩手県内の管理栄養士在籍店舗にて各測定機器を用いた健康相談会を実施いたしました。来店したお客様に測定していただき、その結果に基づいた食事や栄養に関するアドバイスをしております。測定機器は体組成計、骨強度計、野菜不足診断、血管年齢等があり、テーマに合わせて使用しております。

・地域包括支援センターでのセミナー

その季節に合ったテーマで地域の高齢の方に向けたセミナーを実施いたしました。

(計3回、各10～20名)



企業等からのコメント：

株式会社ツルハでは店舗に在籍している管理栄養士が地域のお客様の健康のために日々活動しております。店舗ではもちろん市町村や企業様と一緒に店舗外でも健康イベントを行い、食の大切さを伝える活動を引き続き行ってまいります。